

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2018-51556(P2018-51556A)

【公開日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-013

【出願番号】特願2017-185571(P2017-185571)

【国際特許分類】

B 05 C 5/04 (2006.01)

C 09 J 5/00 (2006.01)

B 05 C 9/14 (2006.01)

B 05 C 11/10 (2006.01)

【F I】

B 05 C 5/04

C 09 J 5/00

B 05 C 9/14

B 05 C 11/10

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月23日(2020.9.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

略固体で自由流動性の接着剤粒子を処理し、液状接着剤を供給する溶融装置であって、略固体の接着剤粒子を流入させるための流入開口を有する接着剤を受容するタンクと、前記タンクと接続され、前記略固体の接着剤粒子を加熱し液化する加熱装置であって、少なくとも1つの液状接着剤用接着剤流路を有する前記加熱装置と、

前記液状接着剤を送る少なくとも1つのポンプと、

略固体の自由流動性の接着剤粒子で前記タンクを充填する充填装置と、を備え、前記充填装置は、前記略固体の接着剤粒子を前記タンクの前記流入開口を通して前記タンクに導入できるように、前記タンクに対して配置されており

前記充填装置は、充填流路と、可動バルブボディを有する充填バルブと、を備え、前記バルブボディは、前記充填流路の自由表面断面が前記バルブボディにより略閉塞されるクローズ位置と前記充填流路の自由表面断面が略開放されるオープン位置との間で変位可能に前記充填流路内に配置されている、溶融装置。

【請求項2】

請求項1に記載の溶融装置において、

制御装置と、

前記充填バルブを駆動させる駆動装置と、

前記充填流路内の接着剤粒子を検知するセンサ装置と、を備え、前記センサ装置は、前記充填バルブを調整する前記駆動装置に前記制御装置を用いて伝達可能な信号を供給し、又は、前記センサ装置は、前記充填バルブを調節する前記駆動装置に伝達可能な信号を直接供給する、溶融装置。

【請求項3】

請求項2に記載の溶融装置において、

前記センサ装置は、光送受信器を有するか、又は静電容量センサとして構成される、溶融装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の溶融装置において、

前記充填バルブの前記バルブボディは、断熱材を含み又は断熱材から製造され、及び／又は断熱材からなる少なくとも 1 つの断熱層を有し、クローズ位置で前記タンクから前記充填流路を通る熱流を減少させる、溶融装置。

【請求項 5】

請求項 2 ないし 4 のいずれか一項に記載の溶融装置において、

前記バルブボディは、前記駆動装置と接続され、

前記バルブボディは、フランプとして構成され、前記フランプは、回転軸を中心に回転可能であるか又は略並進往復移動可能である、溶融装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載の溶融装置において、前記充填流路は、前記タンク内で前記加熱装置を用いて加熱されたガスを導出するための少なくとも 1 つのガス導出開口を有する、溶融装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の溶融装置において、

前記少なくとも 1 つのガス導出開口は、前記バルブボディと前記タンクの前記流入開口との間に配置され、及び／又は前記少なくとも 1 つのガス導出開口は、作動時に前記バルブボディの上方の領域に配置されている、溶融装置。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の溶融装置において、前記少なくとも 1 つのガス導出開口は、細長い穴又は略円筒状の穿孔である、溶融装置。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 8 のいずれか一項に記載の溶融装置において、

接着剤粒子をガイドする、及び／又は前記充填流路内に存在する流れているガスをガイドする少なくとも 1 つのガイド装置が前記充填流路内に配置されている、溶融装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の溶融装置において、前記ガイド装置はガイドシートである、溶融装置。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の溶融装置において、

少なくとも 1 つのガス導出開口が、前記ガイド装置の下方に配置され、上昇した加熱されたガスは、前記ガイド装置により、前記少なくとも 1 つのガス導出開口へガイドされる、溶融装置。

【請求項 12】

請求項 9 に記載の溶融装置において、

前記少なくとも 1 つのガイド装置が板状体であり、かつ垂直線に対して約 90° と 10° の間の角度で、傾斜して配置される、溶融装置。

【請求項 13】

請求項 9 に記載の溶融装置において、

前記少なくとも 1 つのガイド装置は、垂直線に対してほぼ 60° と 30° の間の角度で傾斜して配置される、溶融装置。

【請求項 14】

請求項 1 ないし 13 のいずれか一項に記載の溶融装置において、

前記充填流路は、前記タンクの前記流入開口の略上方又は少なくとも一部分が前記充填バルブの略上方で、前記タンクの前記流入開口に対して側方に偏倚して配置される、溶融装置。

【請求項 15】

請求項 1 ないし 1_4 のいずれか一項に記載の溶融装置において、
前記バルブボディは、前記タンクの前記流入開口の上方で、前記充填流路の第 1 部分内
に並進的に配置され、該第 1 部分は、前記タンクの前記流入開口から側方に偏倚された前
記充填流路のさらなる上部と隣接している、溶融装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 ないし 1_5 のいずれか一項に記載の溶融装置において、
前記充填流路の内面、及び / 又は前記充填バルブの前記バルブボディの表面、及び / 又
は前記ガイド装置の表面は、摩擦及び / 若しくは付着を低減する被覆材で構成される、溶
融装置。

【請求項 1 7】

接着剤溶融装置のタンクを略固体の自由流動性の接着剤粒子で充填する充填装置であつ
て、

前記充填装置は、請求項 1 ないし 1_6 のいずれか一項に記載の溶融装置に用いられる、
充填装置。